

家計の安定的な資産形成に関する有識者会議（第2回）

越智金融担当副大臣挨拶

（平成29年3月30日（木））

金融担当副大臣の越智隆雄でございます。

本日は、「長期・積立・分散投資に資する投資信託に関するワーキング・グループ」の報告書を米澤委員からご報告いただくとともに、我が国の投資信託の現状について、委員の皆様にご議論いただきました。

ワーキング・グループの座長を務めていただきました米澤委員、メンバーを務めていただきました神戸委員、北澤委員をはじめ、各委員の皆様におかれましては、短い時間の中で、大変精力的に密度の濃いご議論をいただき、感謝申し上げます。

金融庁としましては、報告書を踏まえて、積立NISAの対象商品に関する告示を速やかに策定し、公布したいと考えております。

また、我が国の投資信託の現状については、ワーキング・グループの報告書においても、「これまで、我が国の投資信託は、組成・販売などを行う「生産者側」の論理で提供されてきた面が強いが、積立NISAの導入を一つの契機として、「消費者側」、すなわち、「顧客本位」の目線に立ったものに変わっていく必要がある」とあります。

金融庁としましては、積立NISAの創設や家計に対する実践的な投資教育・情報提供などに加えて、「顧客本位の業務運営に関する原則」の策定など金融機関における顧客本位の業務運営の確立・定着に、取り組んでいるところです。

こうした取組みを通じて、家計の安定的な資産形成の実現とともに、我が国資本市場の発展を図っていきたいと考えております。皆様におかれては引き続き御支援のほど宜しくお願い申し上げます。

本日は、皆様お忙しい中、ご参加頂きありがとうございました。

以上